

Scope of Endodontics: Dental Implants

歯内治療の範囲:歯科インプラント

AAE ポジションステートメント

歯科インプラント治療は、歯内治療の臨床の範囲内である。歯内療法 of 専門分野の ADA 定義によると、「その研究と臨床には、『病因、診断、歯髓の疾患と外傷の予防と治療、および関連する歯根周囲の状態』の正常歯髓の生物学を含む基本的な臨床科学が含まれる。」。歯内治療の目標は、自然の歯を保存することである。

患者が歯内治療医を訪問し、治療計画中に歯内治療医が

1) 歯を抜歯し、2) 歯科インプラントを埋入する場合、患者にとってそれが最善なら、歯内治療医は抜歯とインプラント治療を進めることができる。これは、最小限の侵襲で可能な限り最高の歯科治療を提供するという概念と一致している。患者は複数回の歯科訪問を避けることができるため、歯科が引き起こすストレスを軽減し、治療をより迅速に完了することができる。

歯科の卒業生は、歯学部で歯科インプラントの教育と訓練を受ける。歯内治療医は、歯内治療大学院プログラムの一環として、追加のインプラントトレーニングを受ける。インプラントは、1974 年以来、歯内治療における高度専門教育プログラムの歯科認定委員会(CODA)の認定基準の一部となっている。2006 年、CODA の歯内治療基準が改訂され、必要な知識レベルが「熟知」から「理解」へと引き上げられ、「歯内骨内インプラント、オッセオインテグレートッドインプラントおよびインプラント埋入技術」が「インプラント歯科」という広い用語に置き換えられた。

CODA 基準は最小限の教育要件を設定し、各プログラムはドキュメント内で特定された領域のいずれかでトレーニングの習得度を測定できる。多くの歯内治療の高度な教育プログラムは、インプラントの分野における CODA 要件を大幅に上回っている。

さらに、AAE メンバーはインプラント治療を行ない、最新の教育を行なうために、インプラント歯科のコースは AAE 継続教育カリキュラムにおいて定期的の特集される。2008 年から 2011 年にかけて、AAE で歯科インプラントに関する継続的な教育イベントが 37 回開催され、そのほとんどは歯内治療医によって行われた。AAE2009 秋季大会のトピックは、「歯内治療のインプラントー治療計画と埋入テクニック」である。